

ESPフォーキャスト調査 質問票
2023年1月調査 (1月16日頃公表予定)
(回答の送信期限:1月10日12時)

機関名
フォーキャスター 氏名

●数字は半角でご入力ください。無回答の場合は、空欄にしてください。
ご協力のほど、よろしくお願いたします。

I-(1) 年度(米国、中国、ユーロ圏のGDP、NY原油価格は暦年)

Table with 24 columns: 名目GDP, 実質GDP, 実質民間最終消費支出, 実質民間住宅投資, 実質民間企業設備投資, 実質民間在庫変動, 実質政府最終消費支出, 実質公的固定資本形成, 実質公的在庫変動, 実質財貨・サービスの輸出, 実質財貨・サービスの輸入, 鉱工業生産指数, 経常収支, 消費者物価(生鮮食品除く総合), 完全失業率, 名目賃金指数, 国債流通利回り(10年物), 日経平均株価, マネーストック(新M2), 円相場(対米ドル), 米国実質GDP(暦年), NY原油価格(WTI,ドル/バレル)(暦年), 中国実質GDP(暦年), 貿易収支(通関ベース), ユーロ圏実質GDP(暦年). Rows include 2021実績, 2022予測, 2023#, 2024#.

注:①国債流通利回り、日経平均株価、円相場、NY原油価格は、いずれも「営業日平均」。②名目賃金指数は、毎月勤労統計調査の事業所規模5人以上(パートタイム労働者を含む)の現金給与総額。

I-(2) 予測値の主観的な分布

・実質GDP増加率

Table for real GDP growth rate distribution with columns for ranges from x ≤ -3 to 7 <x and rows for 2022, 2023, 2024 forecasts.

合計値
100
0
0
0

・CPI(生鮮食品除く総合)上昇率

Table for CPI distribution with columns for ranges from x ≤ -4 to 4 <x and rows for 2022, 2023, 2024 forecasts.

合計値
100
0
0
0

II. 四半期

Table for quarterly data with columns for 実質GDP, 実質民間最終消費支出, 実質民間企業設備投資, 実質財貨・サービスの輸出, 実質財貨・サービスの輸入, 消費者物価(生鮮食品除く総合), 完全失業率, 円相場(対ドル), 株価(日経平均), 鉱工業生産指数. Rows include 2022, 2023, 2024 forecasts and 2025 1#.

III. 総合景気判断DI

● 総合景気判断として、各期ごとに「上昇」、「横ばい」、「下降」のいずれかを選択し、以下の該当する欄に「○」を入力してください。

Table for overall economic sentiment judgment with columns for 上昇, 横ばい, 下降 and rows for 2022, 2023, 2024 forecasts.

参考:景気動向指数DI(一致指数)の動きを想定して、以下のようにご判断ください。
当期のDIが50超であると思われる場合 → 「上昇」
当期のDIが50未満であると思われる場合 → 「下降」
当期のDIが50近傍、または明確な動きにならないと思われる場合 → 「横ばい」

IV. 22年10～12月期の成長率(その他項目)

● 「II」の項目以外の前期比伸び率が、「上昇(伸び率の符号はプラス)」、「ほぼゼロ」、「低下(伸び率の符号はマイナス)のいずれかを選択し、以下の該当する欄に「○」を入力してください。在庫変動については、前期比伸び率ではなく、実質GDP成長率に対する寄与度についてお答えください。

Table for growth rates with columns for 前期比伸び率 (上昇, 横ばい, 低下) and rows for 民間住宅投資, 民間在庫変動(寄与度), 公的固定資本形成, 政府最終消費, 公的在庫変動(寄与度).

V. 景気の転換点

● 政府見解では2020年5月が景気の谷となっています。その次の景気の転換点(山)はもう過ぎたとお考えですか。

(1) 「はい」、「いいえ」の一方に「○」を入力してください。

Form with buttons for はい, いいえ

(2) ●(1)で「はい」の場合にお答え下さい。

転換点(山)はいつだったとお考えですか。"年(西暦4ケタ)"と"月"を記入してください。

Form for entering year and month: [] 年 [] 月

Form for entering percentage: [] %

(2) ●(1)で「いいえ」の場合にお答え下さい。今後1年以内に景気の転換点(山)がくる確率は何の位あると予測していますか。%で記入して下さい。

(3) ●(1)で「はい」の場合にお答え下さい。その次の景気の転換点(谷)はもう過ぎたとお考えですか。

「はい」、「いいえ」の一方に「○」を入力してください。

Form with buttons for はい, いいえ

(4) ●(3)で「はい」の場合にお答え下さい。

転換点(谷)はいつだったとお考えですか。"年(西暦4ケタ)"と"月"を記入してください。

Form for entering year and month: [] 年 [] 月

Form for entering percentage: [] %

(4) ●(3)で「いいえ」の場合にお答え下さい。今後1年以内に景気の転換点(谷)がくる確率は何の位あると予測していますか。%で記入して下さい。

(5) ●(3)で「はい」の場合にお答え下さい。その次の景気の転換点(山)はもう過ぎたとお考えですか。

Form with buttons for はい, いいえ

(6) ●(5)で「はい」の場合にお答え下さい。

転換点(山)はいつだったとお考えですか。"年(西暦4ケタ)"と"月"を記入してください。

Form for entering year and month: [] 年 [] 月

Form for entering percentage: [] %

(6) ●(5)で「いいえ」の場合にお答え下さい。今後1年以内に景気の転換点(山)がくる確率は何の位あると予測していますか。%で記入して下さい。

VI. (特別調査) 日銀の金融政策

(1) ● 日本銀行(金融政策決定会合)の次回金融政策の変更の時期をいつ頃と予想していますか。

1箇所だけに〇(引き締め)か■(緩和)・△(それ以外の政策の変更)を入れてください。

Table with columns for months from 23年1月 to 24年1月以降 and rows for policy change periods.

引き締め(〇) → 短期政策金利引き上げ、長期金利の誘導目標引き上げ、質的緩和縮小など
緩和(■) → 短期政策金利引き下げ、長期金利の誘導目標引き下げ、質的緩和拡大など
それ以外の政策の変更(△) → 引き締めと緩和の組み合わせ、現状の枠組み変更など

(2) ● (1)でお答えになった「次の政策変更」の際、どのような具体策をとると思いますか。具体的な変更内容をご記入ください。

Text input box for specific measures.

(3) ● 日銀の政策金利・誘導目標の見直しについてお尋ねします。

2023年末、24年末の日銀の短期政策金利、長期金利の誘導目標・実勢金利はそれぞれいになると予想していますか。

以下のいずれかに〇を入力してください。「現状維持」を予想される場合は、「▲0.1%以上～0%未満」・「長期は0%以上～0.1%未満」をお選びください。

Table for interest rate forecasts with columns for percentage ranges and rows for short-term policy rate, long-term target, and real rate.

VII. (特別調査) 米国の金利

(1) ● 2023年末、24年末の米国の政策金利(FFレート・市場実勢値)はどれくらいになると予想していますか。

Table for US policy rate forecasts with columns for percentage ranges and rows for FF rate.

(2) ● 2023年6月末、23年12月末、24年6月末、24年12月末の米国の長期金利(10年国債)はどれくらいになると予想していますか。

以下のいずれかに〇を入力してください。

Table for US long-term interest rate forecasts with columns for percentage ranges and rows for 10-year Treasury yield.

VIII. (特別調査) 景気のリスク

● 仮に現在が景気拡張局面だとすると、半年から1年後にかけて、景気上昇を抑える(あるいは景気を反転させる)可能性があるとしたら、要因は何だと思いますか。重要なものに3つまで〇を入力してください。また、よろしければ〇を付けた理由を右欄にご記入ください。

Table for economic risks with a list of 15 risks and columns for selection and reasons.

IX. (特別調査) 2023年賃上げ率の見直し

● 2023年の春賃上げ率(厚生労働省「民間主要企業春季賃上げ要求・妥結状況」ベース)はどうなると予想していますか。上昇率を%でご記入ください。また、その内訳(①定期昇給分、②ベースアップ分)について、それぞれ何パーセント程度と予想していますか。

Table for wage increase forecasts with columns for overall rate and breakdown by type.